



絶倫

外国人の
極太チ○ポ

何度も

オキ

喘ぐ

4

ムム

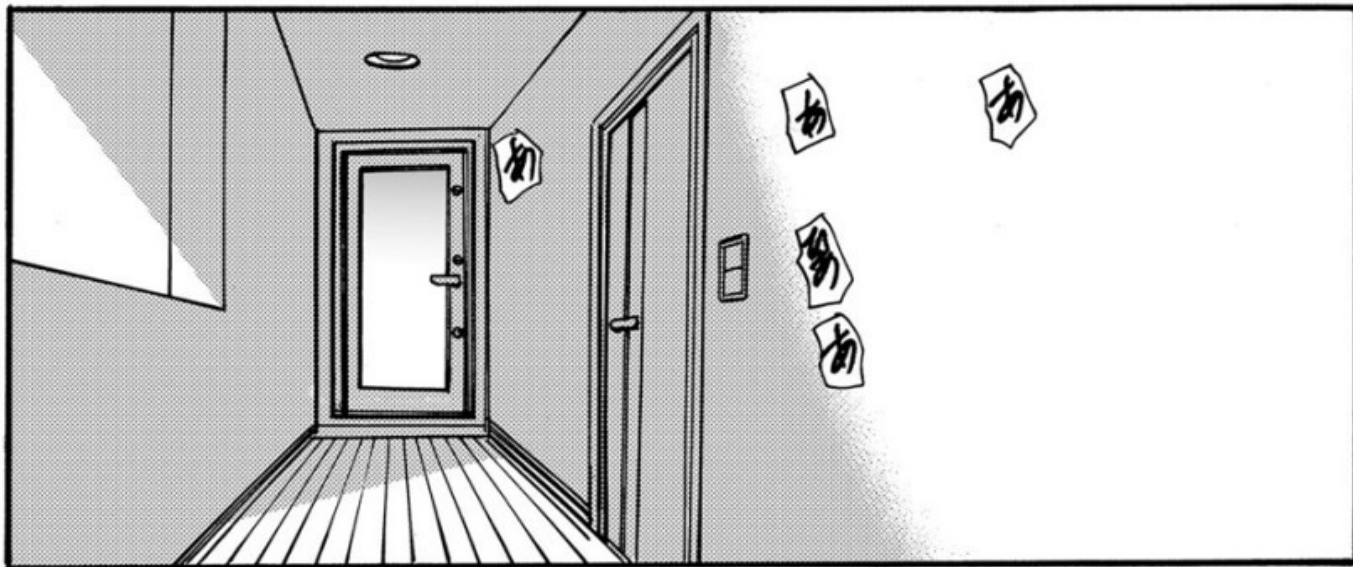
さん、

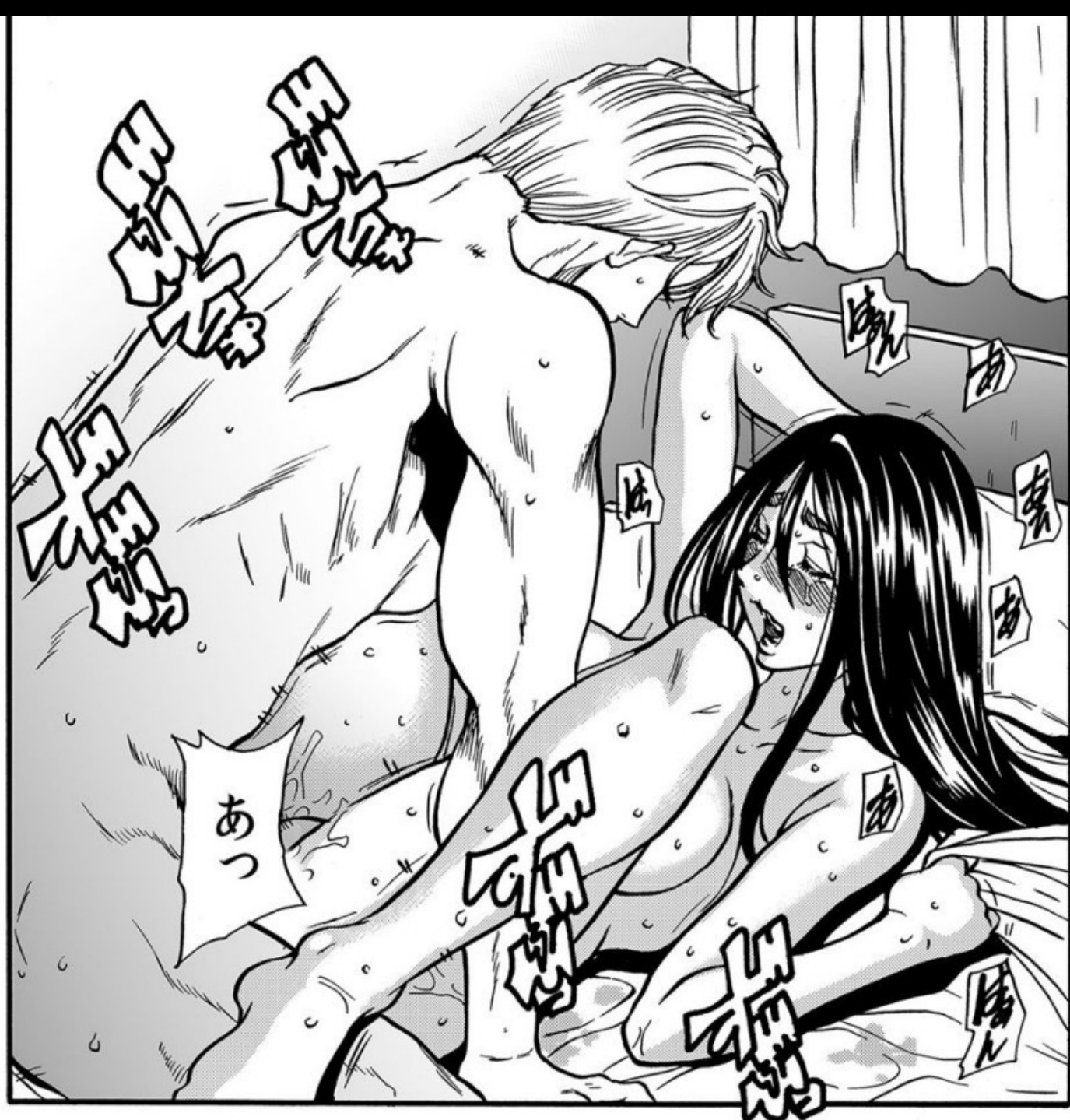
夜這い

OK

デスか？

断華ナオキ











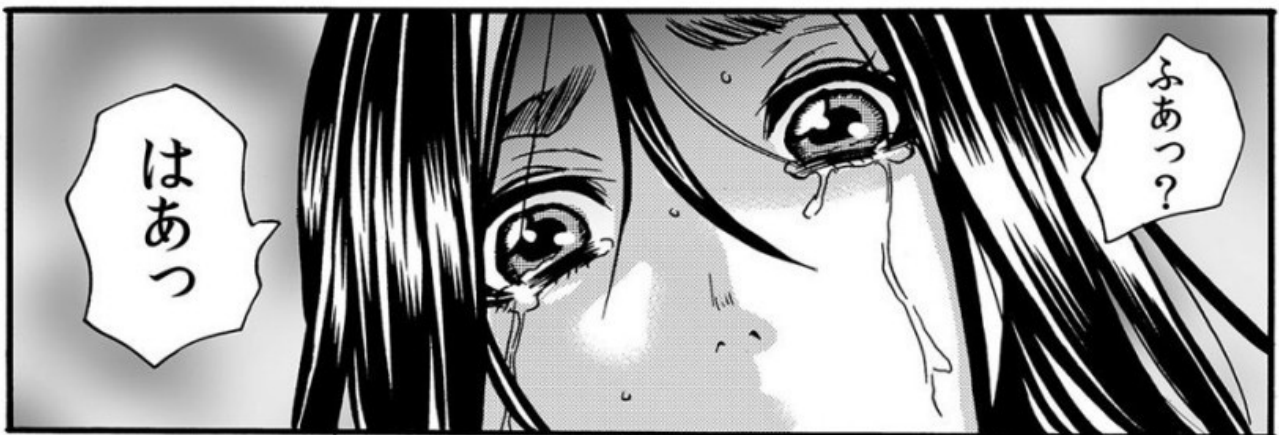
そう…

じゃあ
お預けダネ



…っ
いらない

…っ
そんなの…
…っ
いらない



はあっ

ふあっ？



随分
苦しそう
ダネ

どうしたの
ママさん



このまま
終わっても
いいのかい？

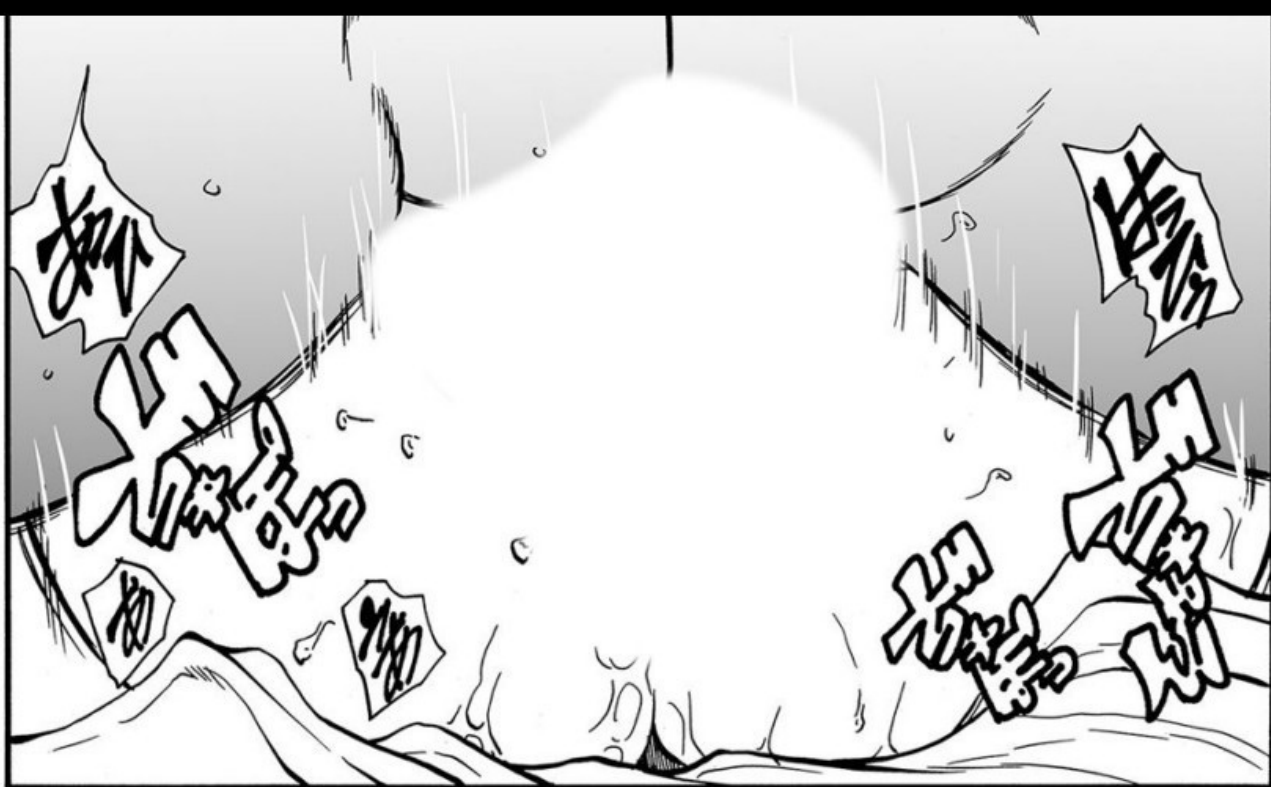
正直に
言いなヨ？

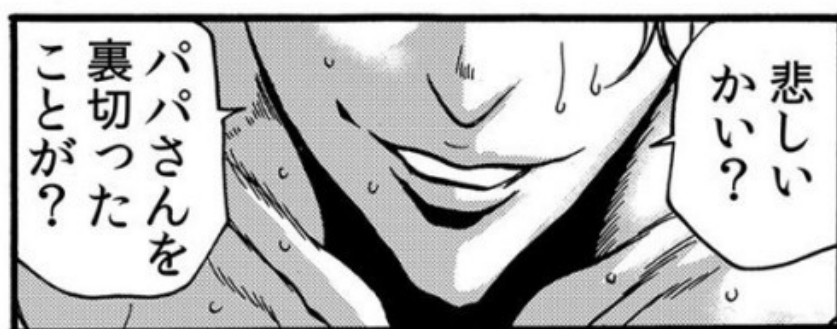


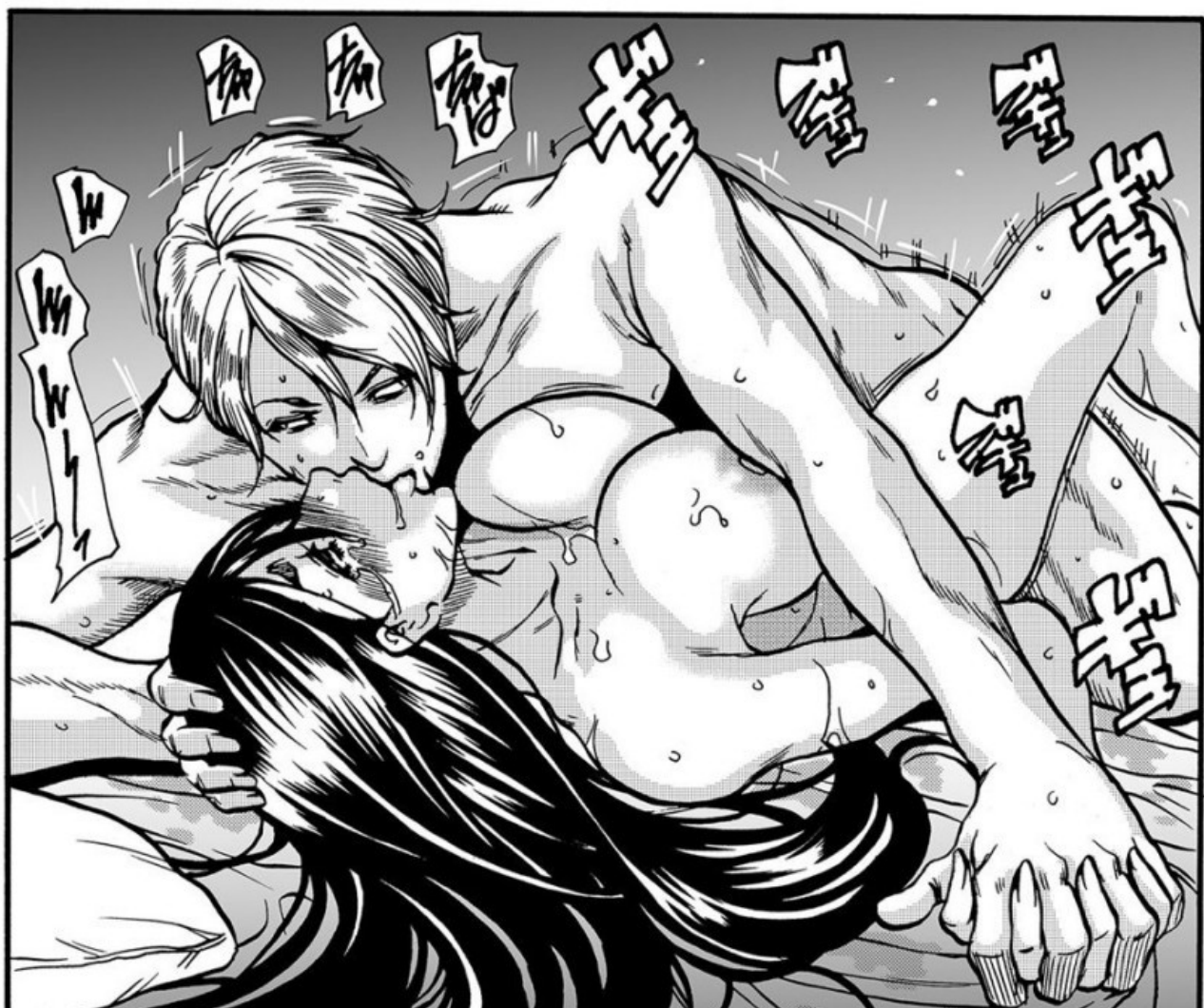
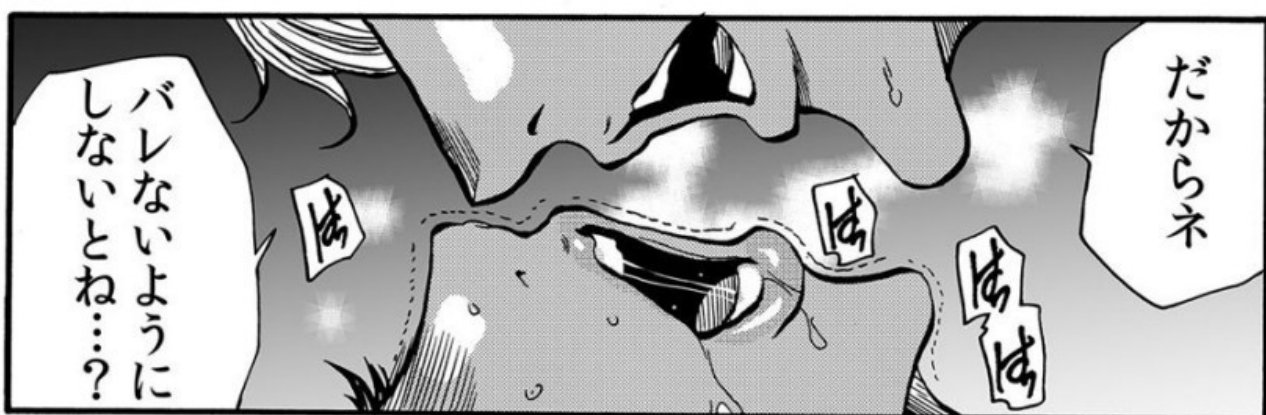
そ…
そうよ…っ

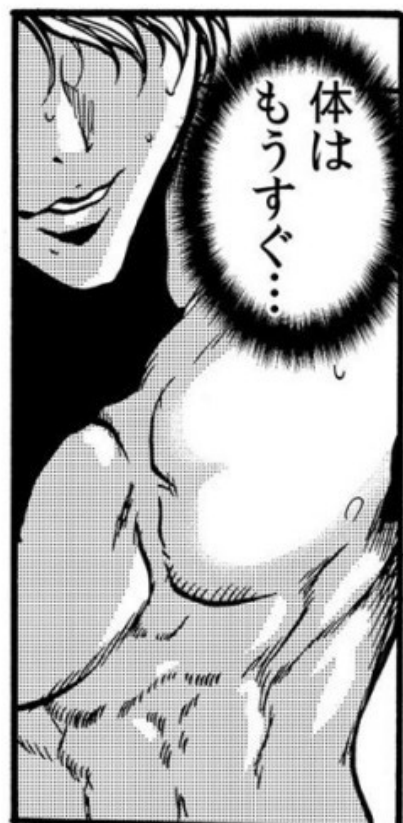
い…
いらない…っ
…っ
いらないわ…っ

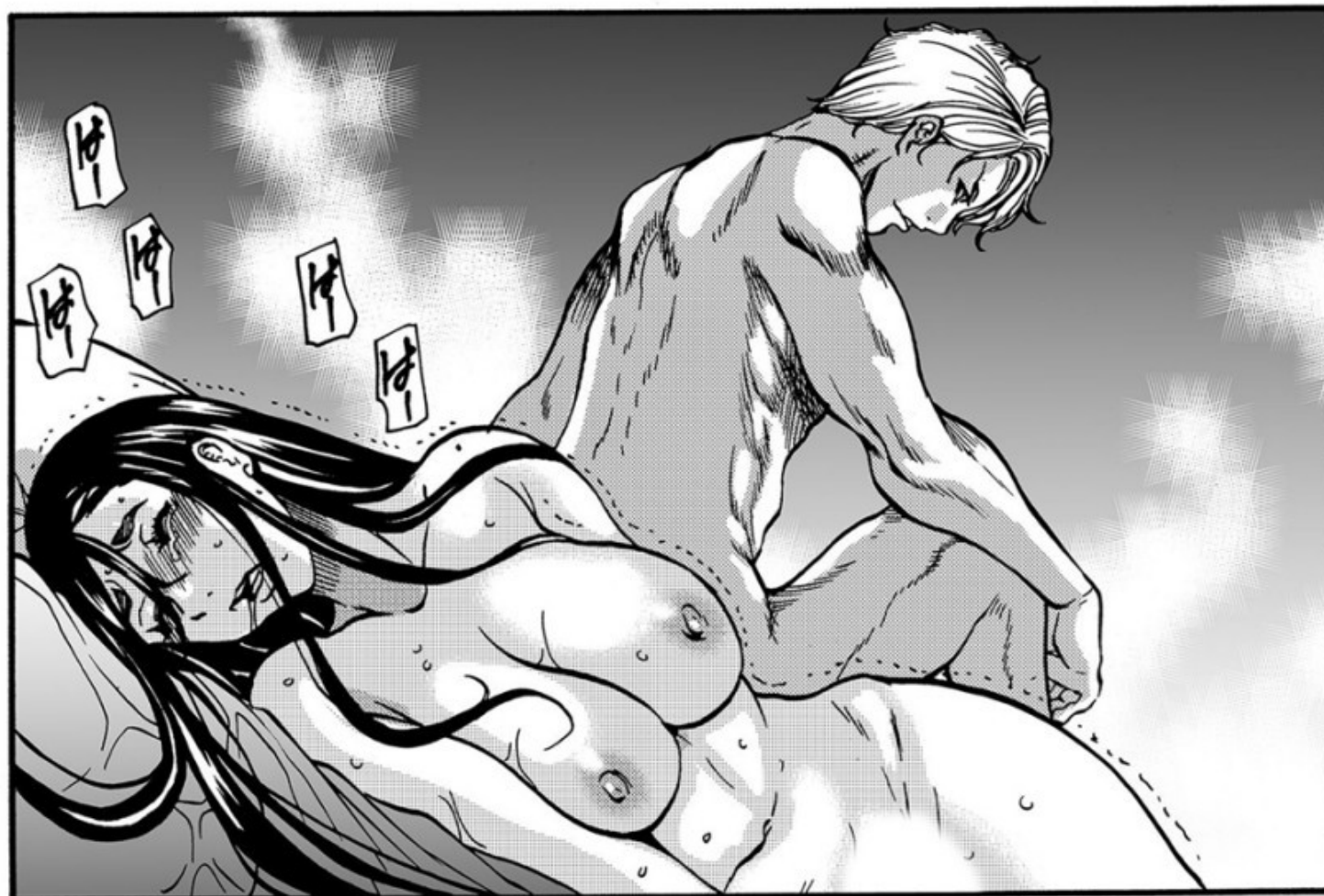




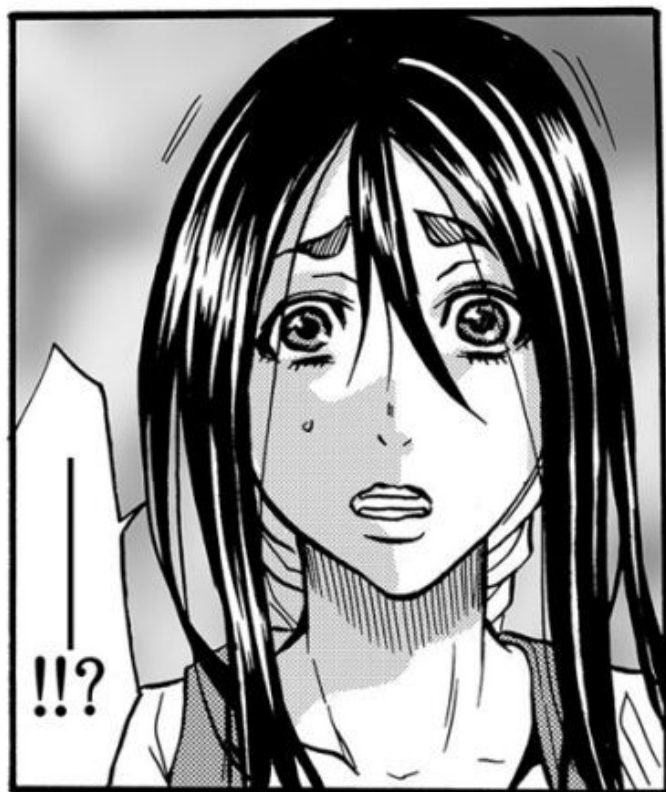
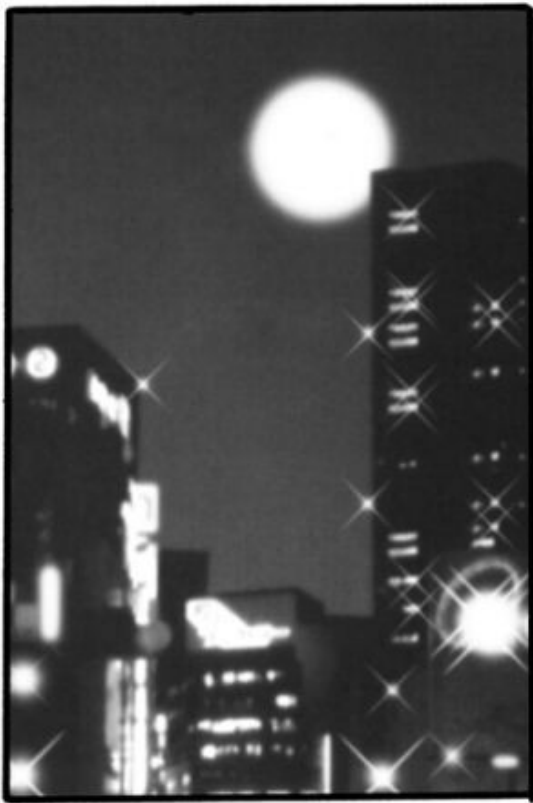














そうダネ
知りたいヨ

なあに？
そんなの
聞きたいの
ロベルト



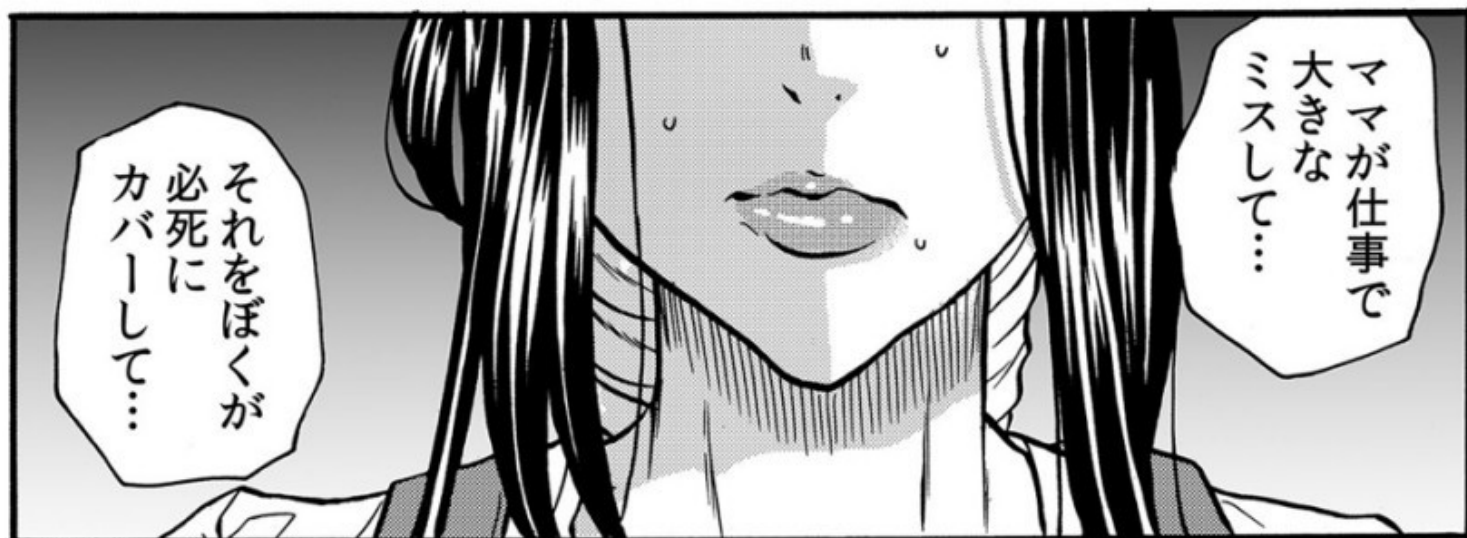
ええ!?
ママとの
出会いかい!?

い、いやあ
恥ずかしいなあ
そんな話



ぼくとママは
同じ会社だね

ぼくがママに
一目惚れ
してね



ママが仕事で
大きな
ミスして…

それをぼくが
必死に
カバーして…



ほら!!
菜緒も料理
運んで!!

ええ
もっと
聞きたい♡



あなた!!
もういいでしょ
そんな話!!

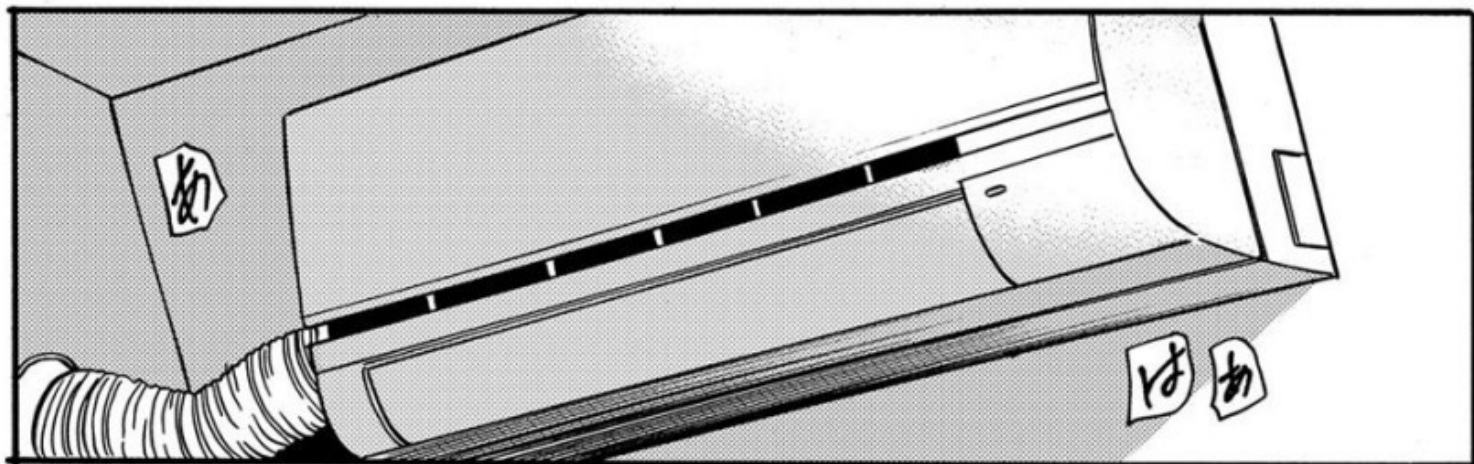
恥ずかしい
わ!!

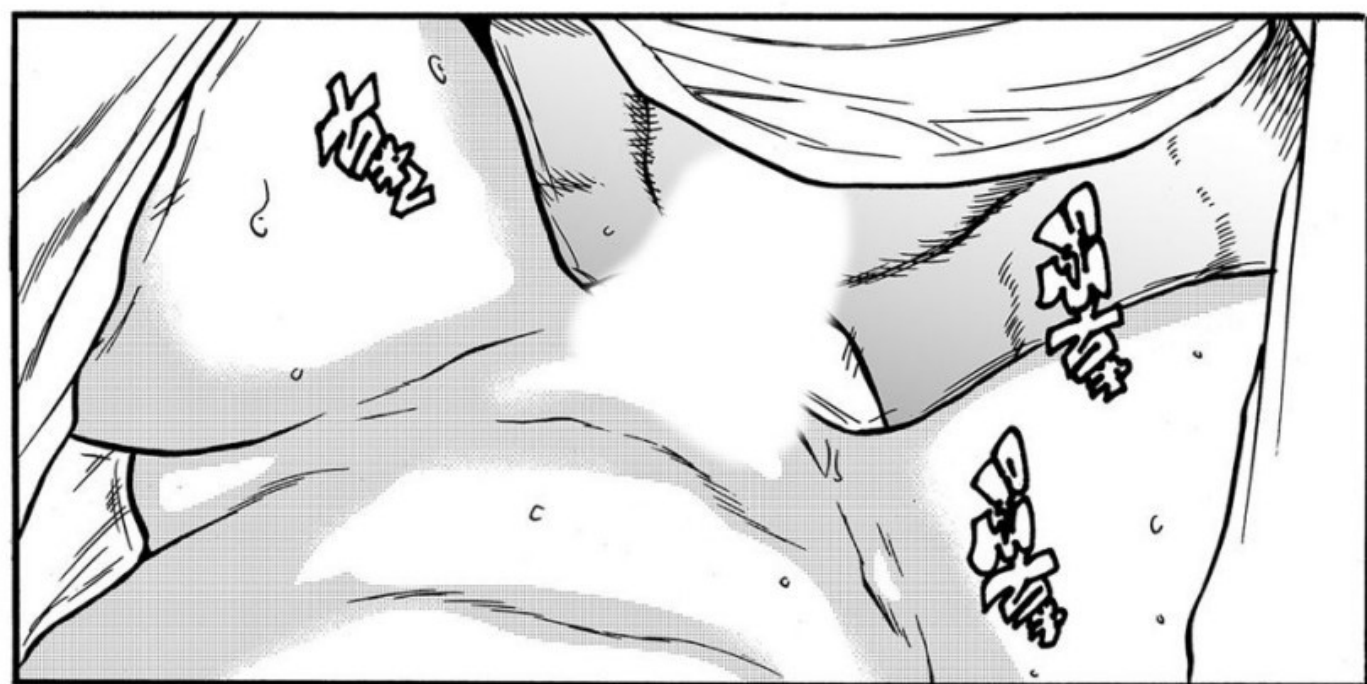


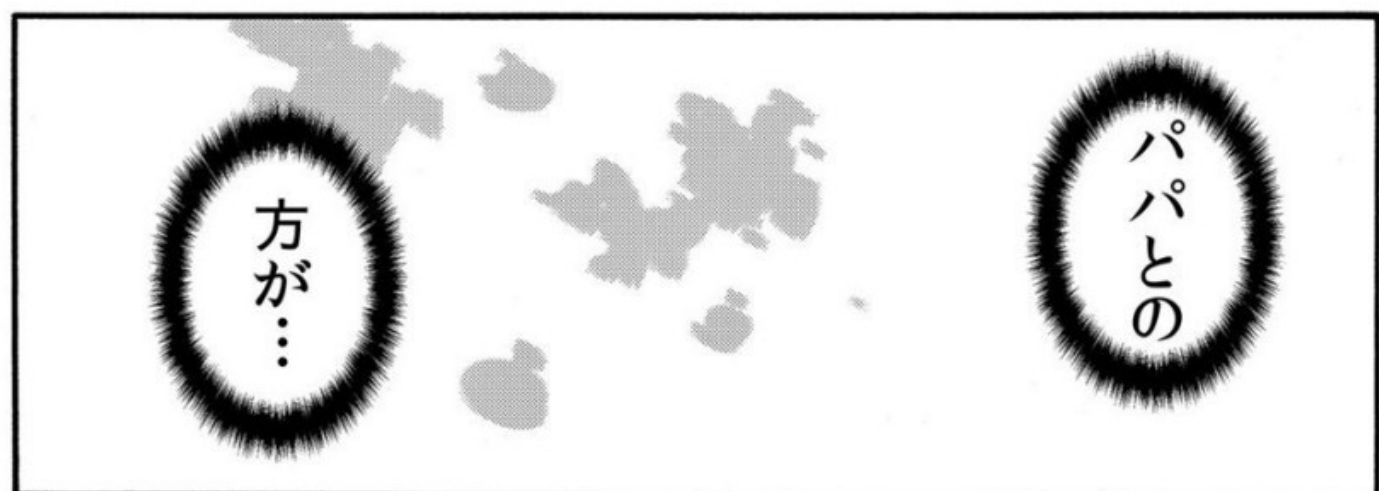
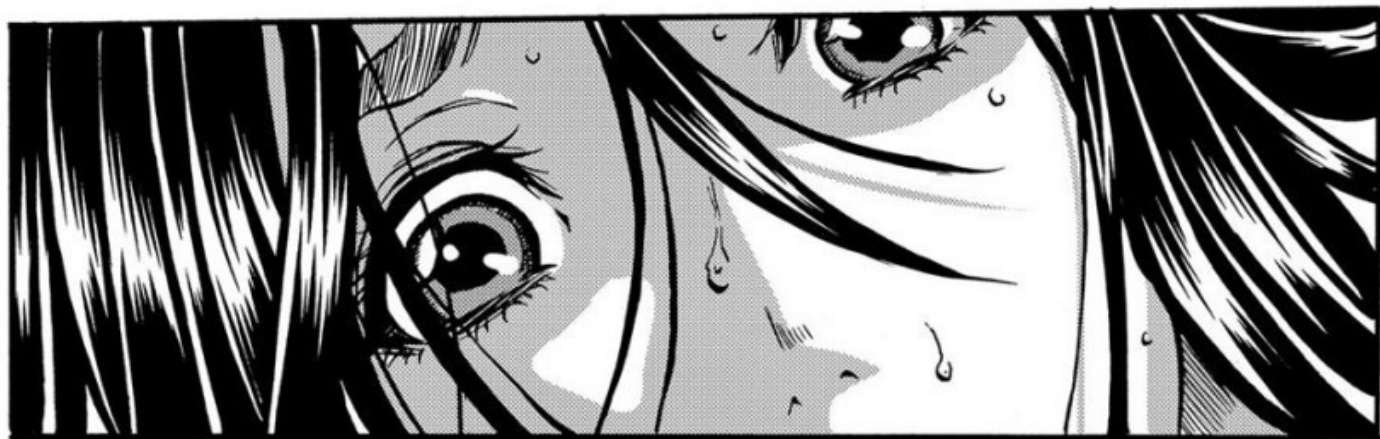
























ただ
されるがまま
だった



もはや
抵抗する気力も
残っていない私は



唯一
心が休まる
瞬間は



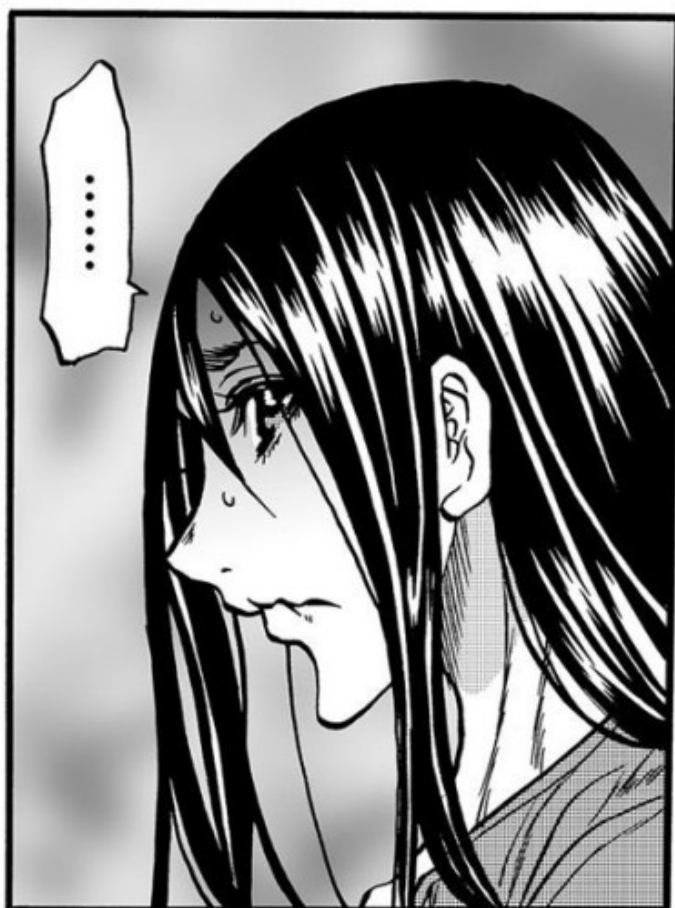
家族に
バレない
こと

それだけを
願って



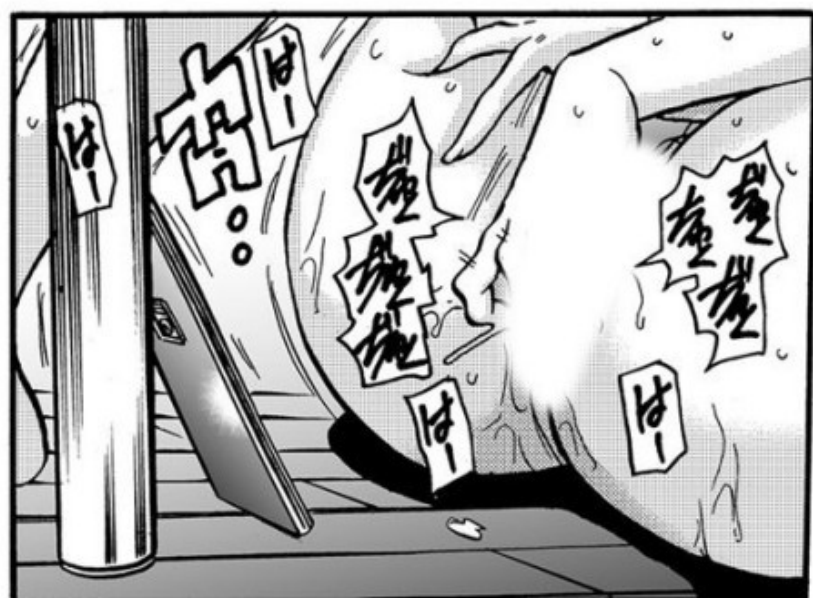
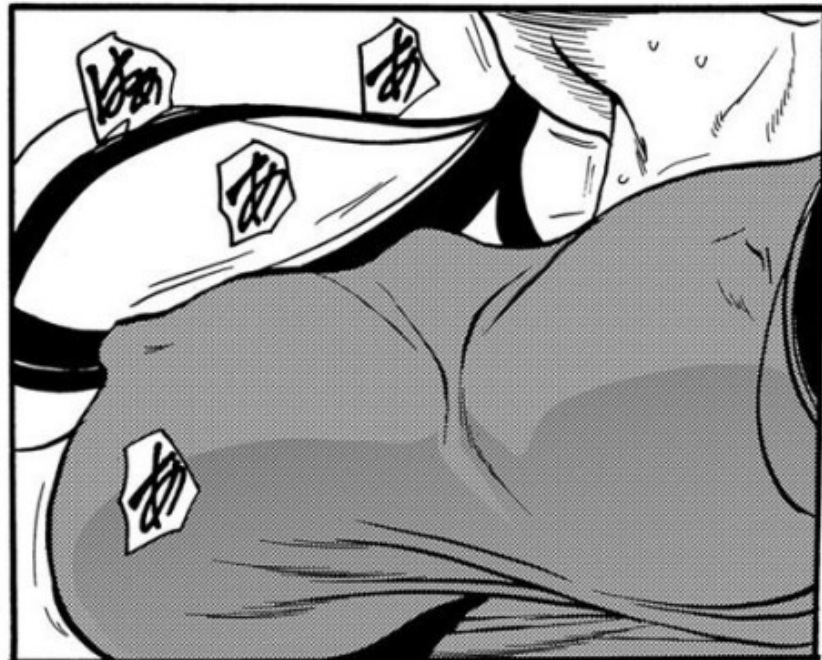
ロベルトが
大学に行く
その時だけ

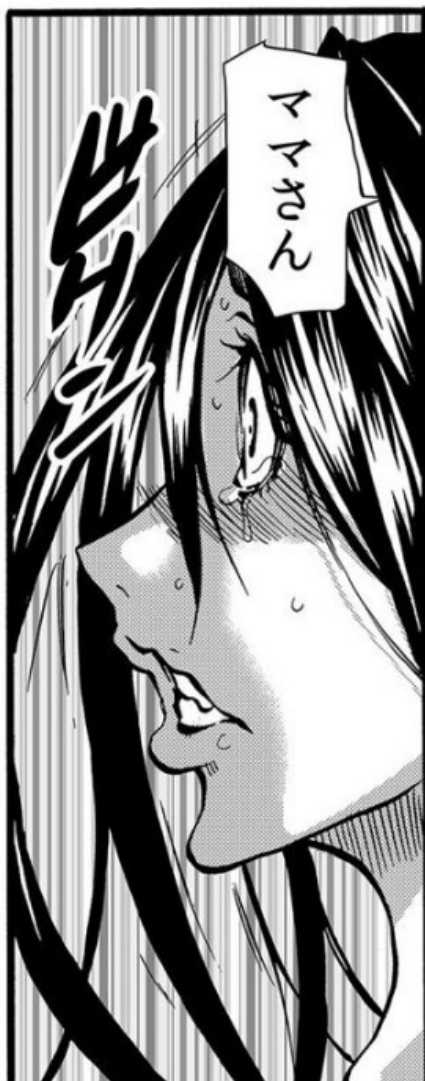
それでも











帰ってきてるのに
気付かないほど
感じてたのかい？

パパさんや
菜緒だったら
どうするつもり
だったの？

はあー

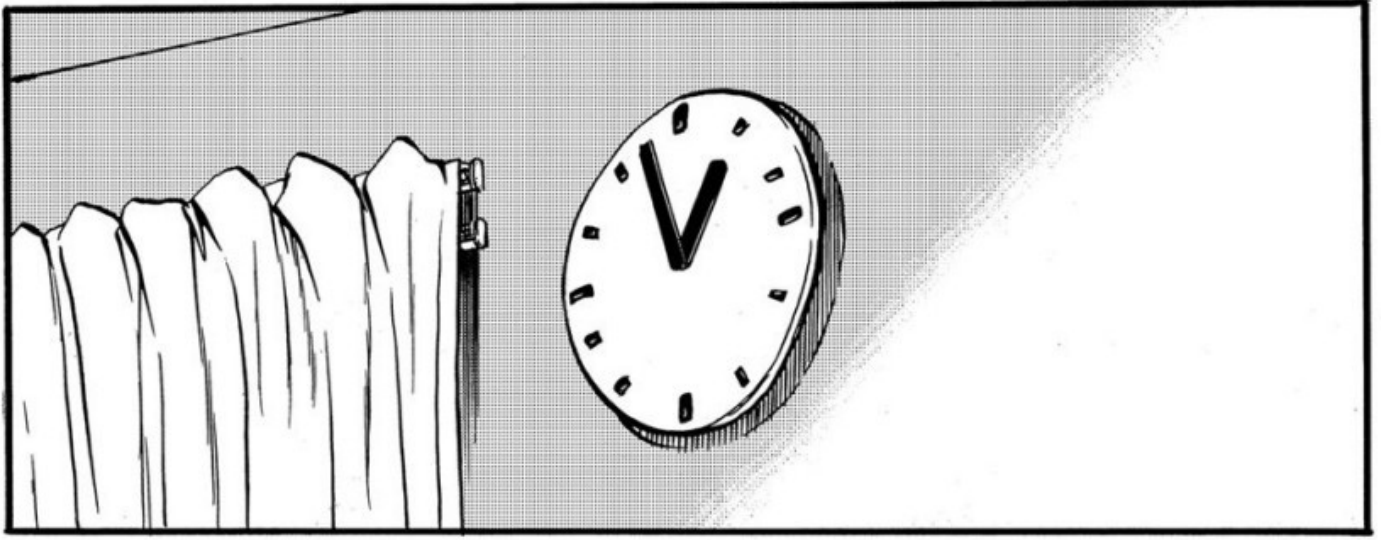
はあー

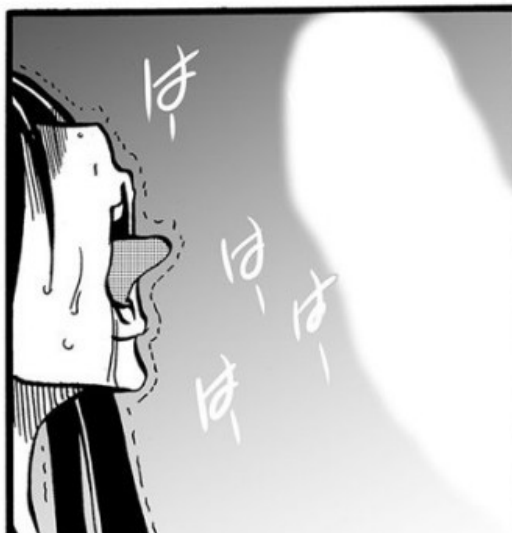
ホラ…

お待ち
かねの…

ネ…？

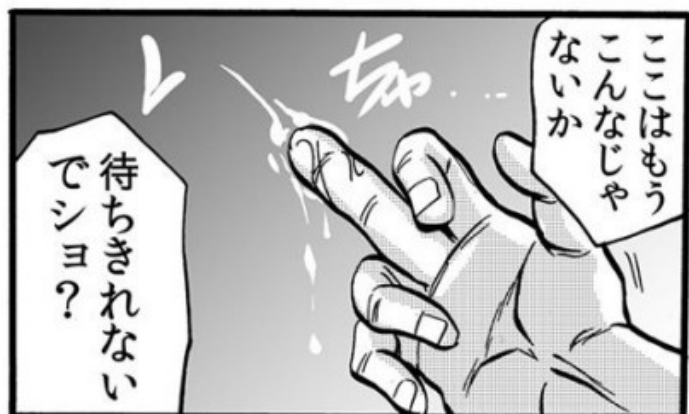
ママさん…



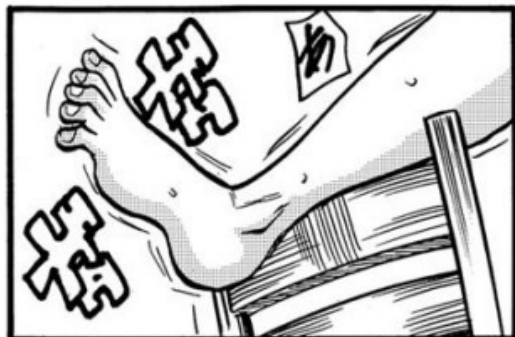






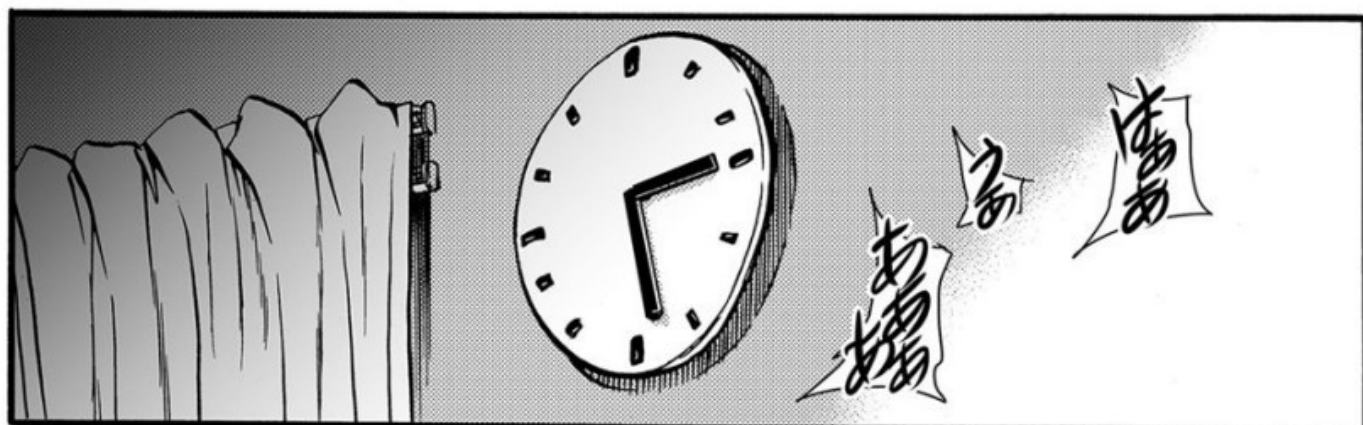


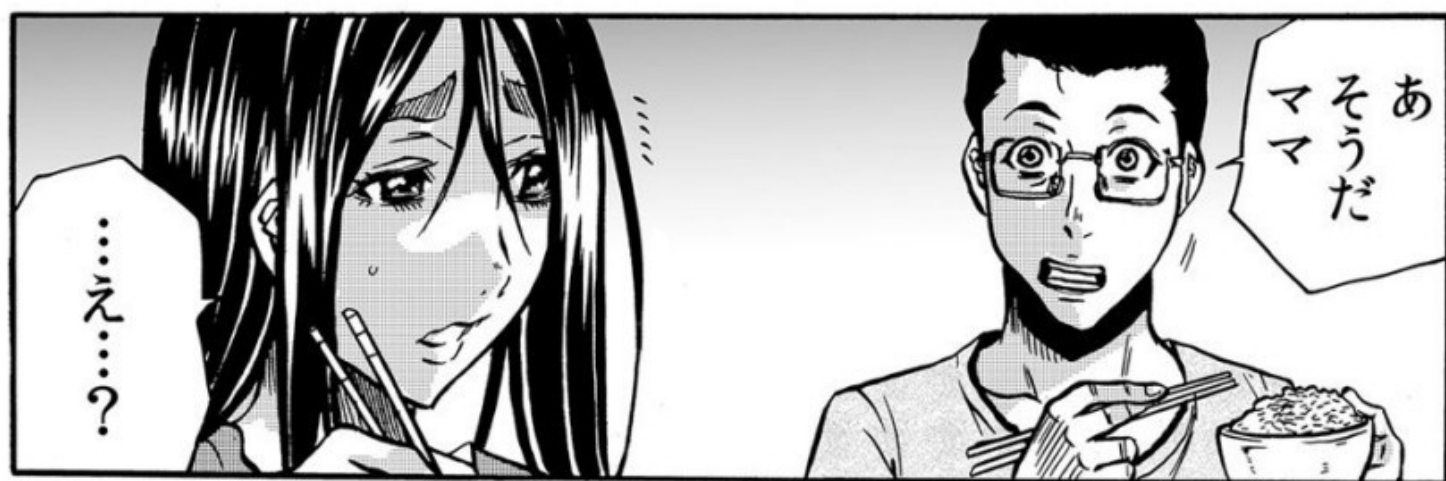




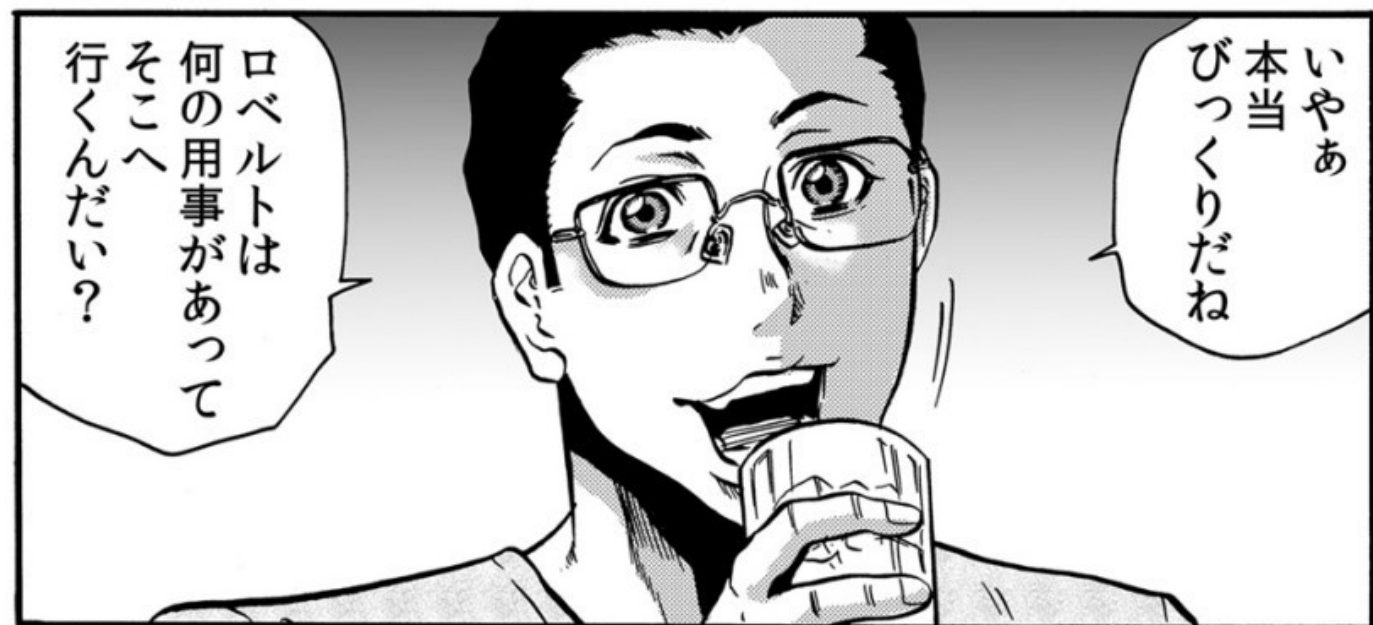
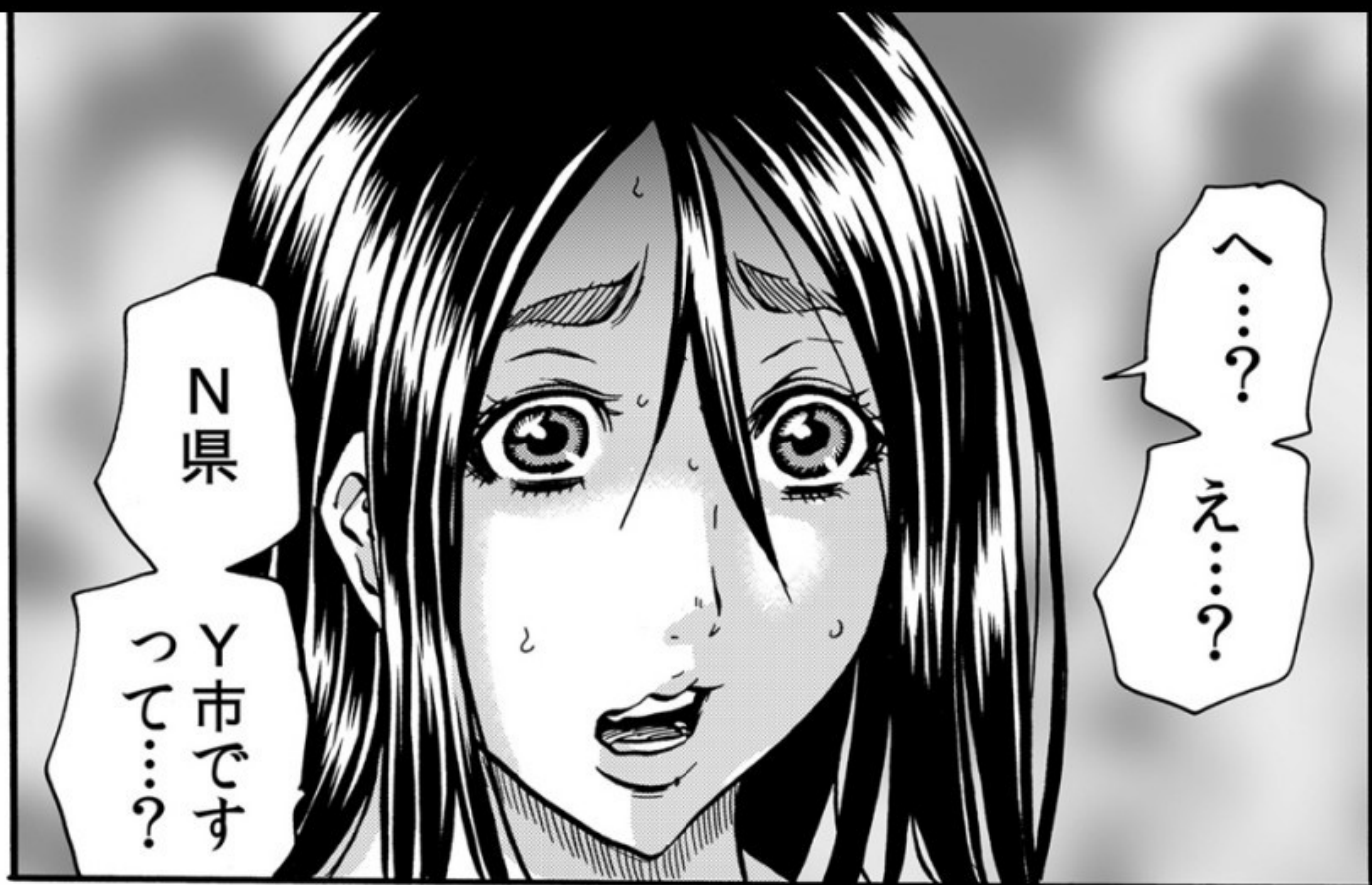


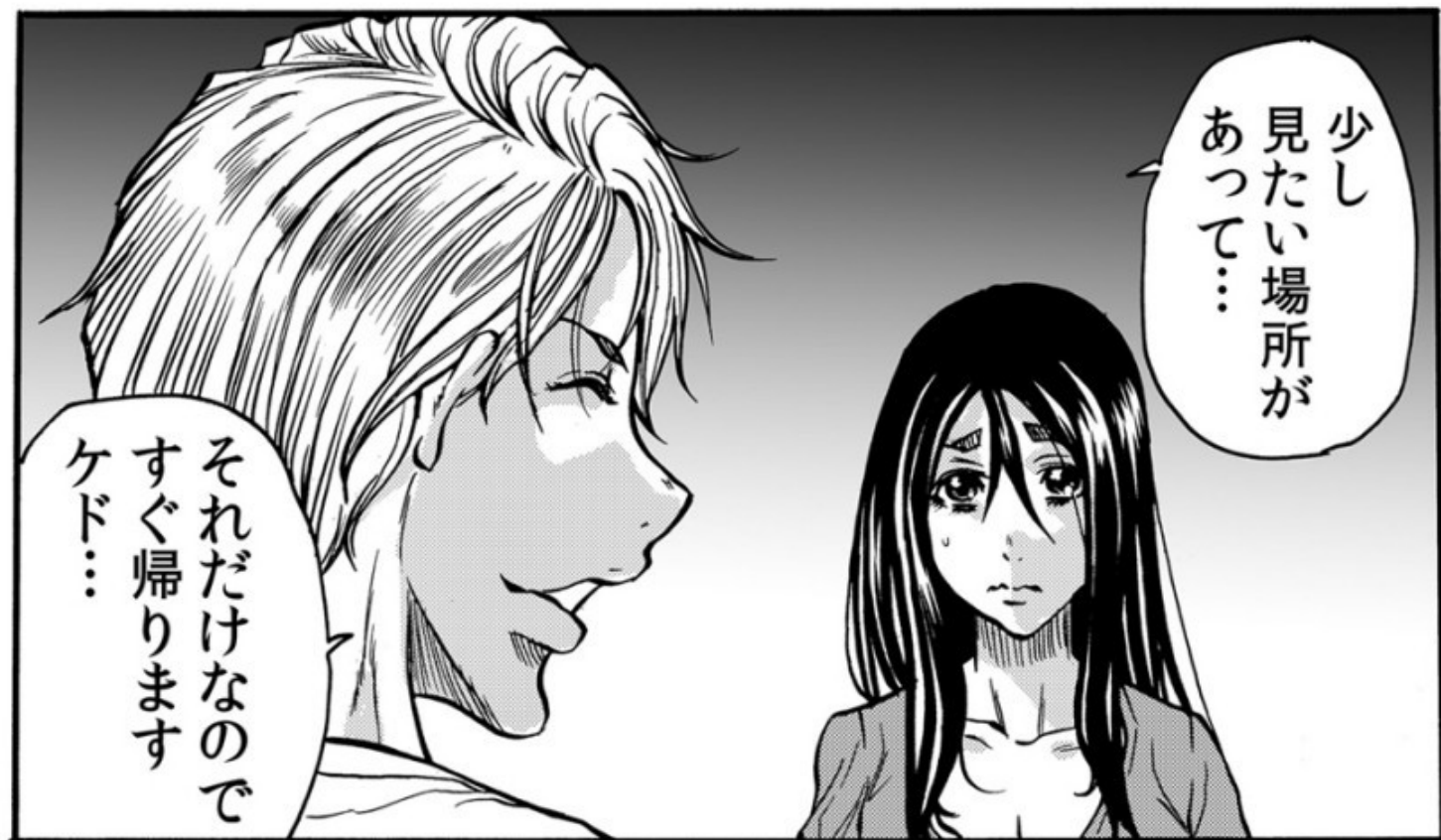








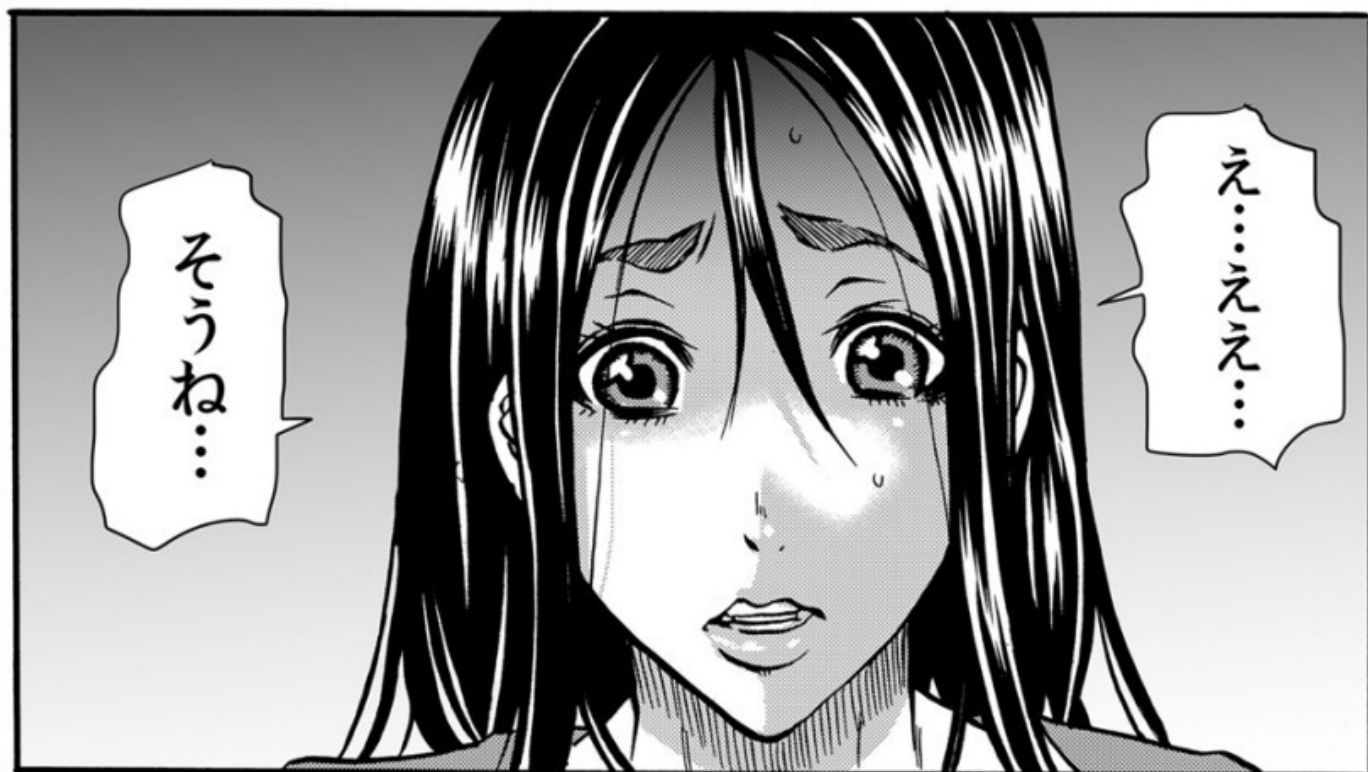






ボクも
案内して
もらえると
助かります

知らない土地は
不安ですし…
ネ？

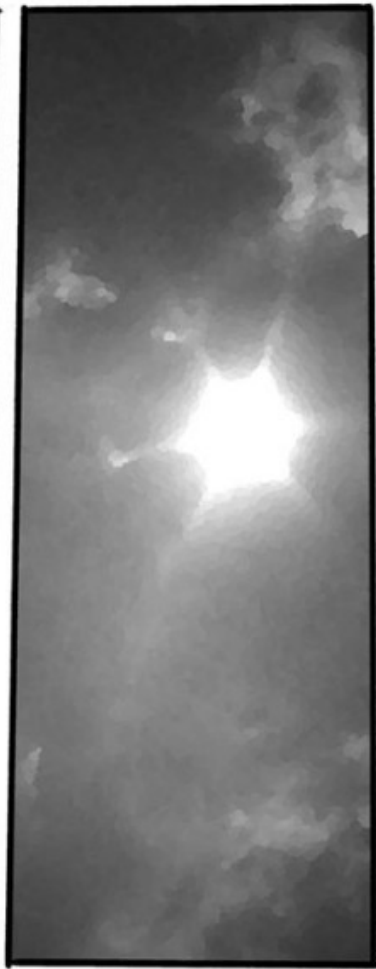


え…ええ…

そうね…

ロベルトが
私の
故郷に…？

一体…
何の用が
…!?

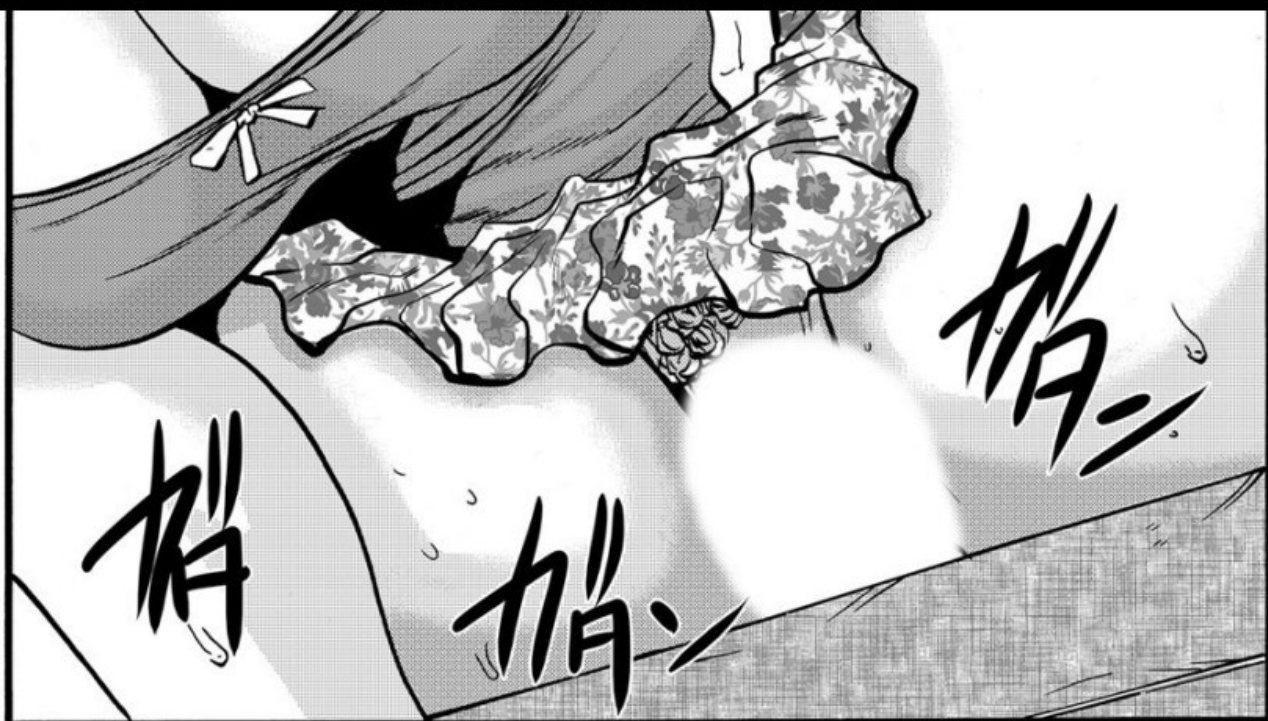


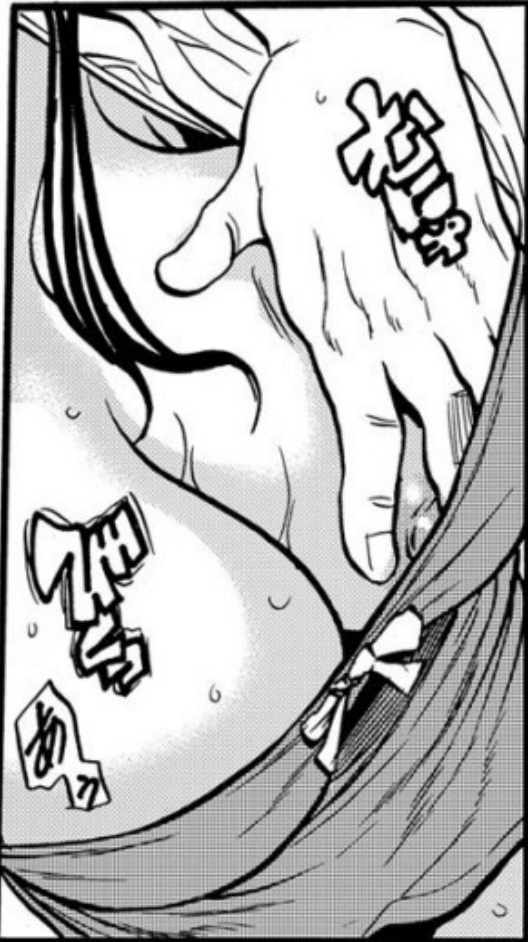


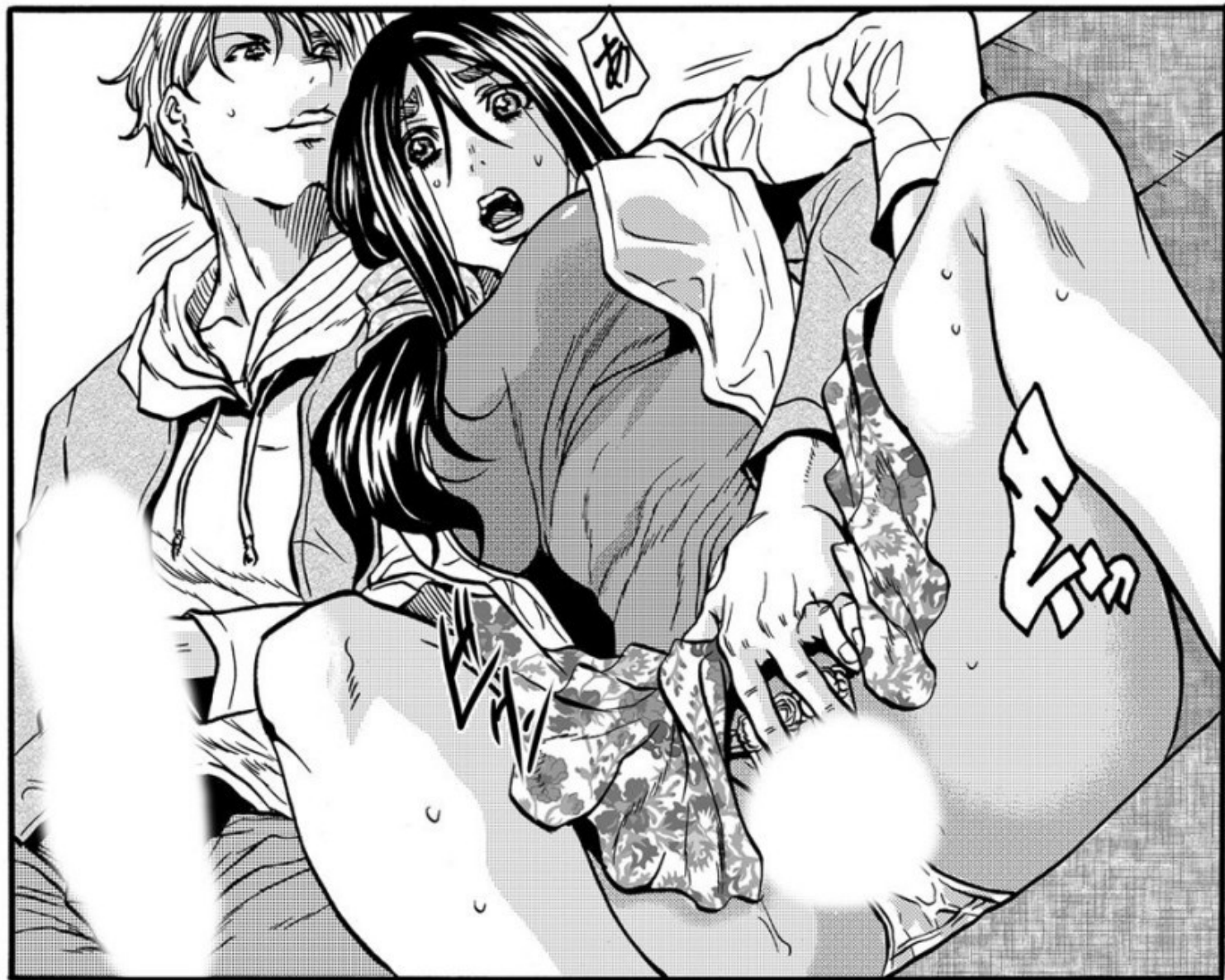






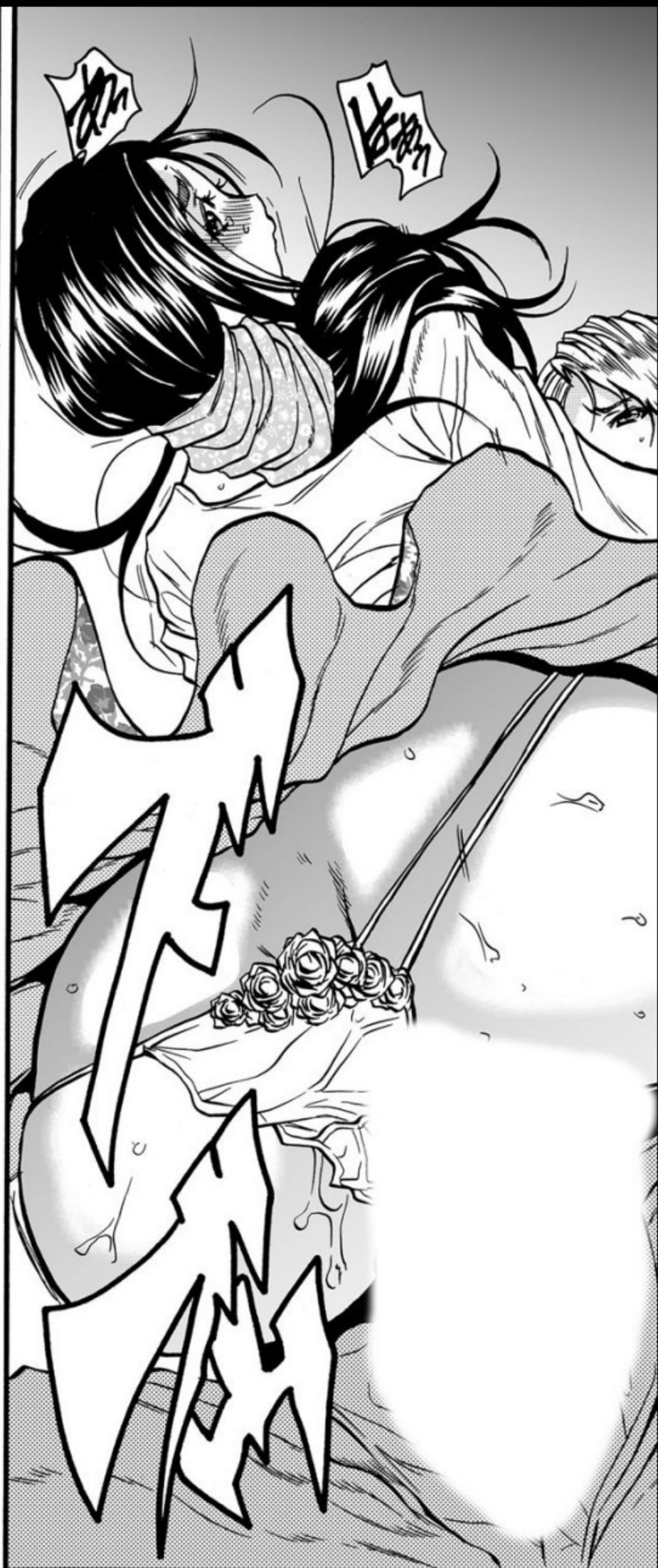








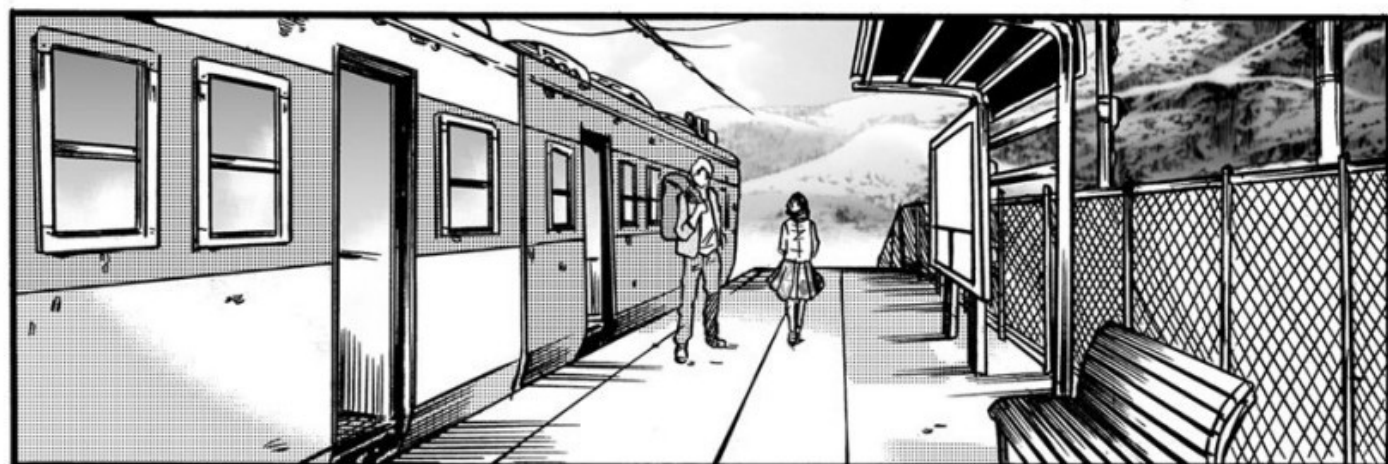
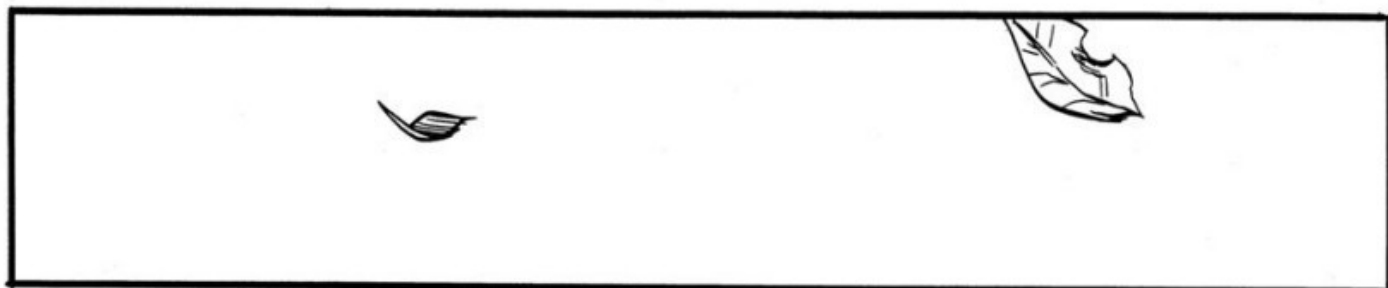


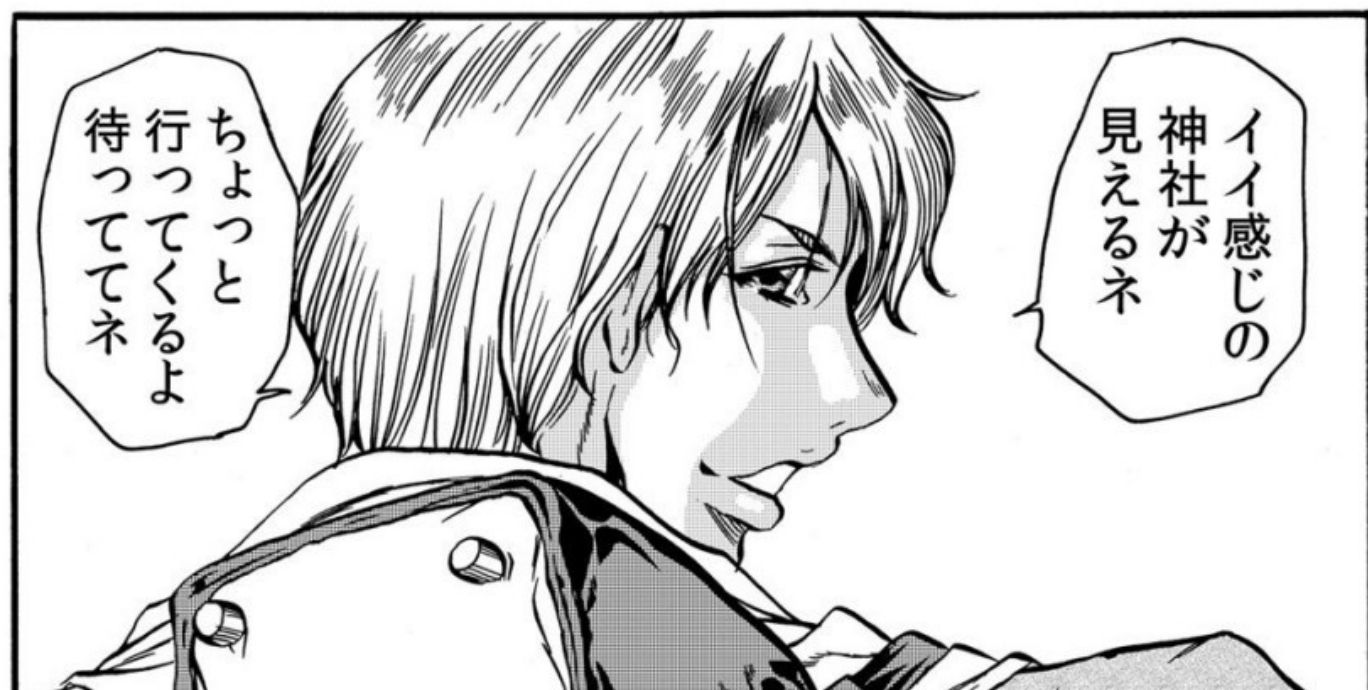


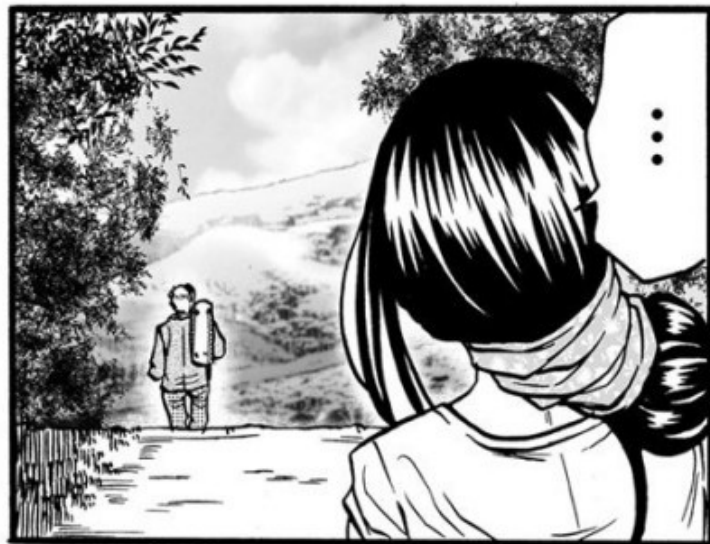






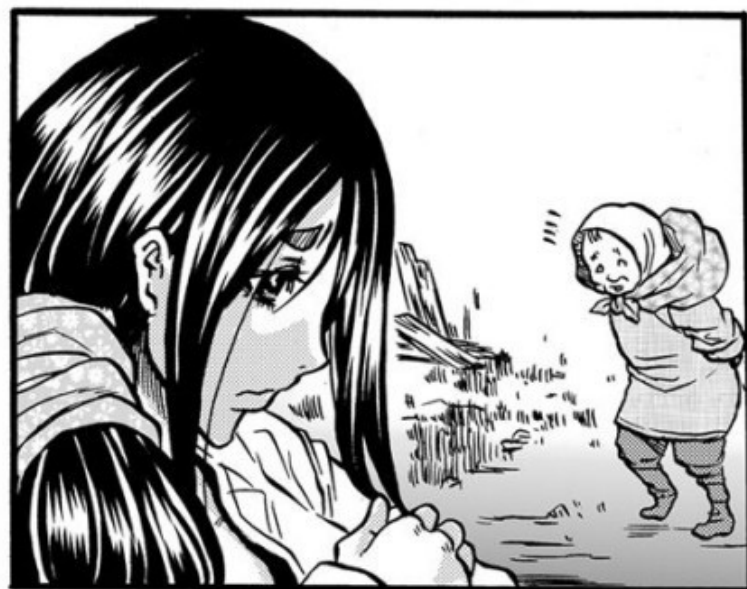






ね…ねえ
なによそれ!!

ちよつと
待つてよ…!!



はあ…

なんなのよ
もう…!!



あれまあ
まさかあ

かな坊か?



やつぱり
かな坊かあ

ひさしぶり
トヨばあちゃん
元気だった？



…あ…

トヨ
ばあちゃん!?



十年ぶり
くらいか？
いつ来たんや？

父ちゃんと
母ちゃんの
墓参りかえ？



あんな事が
あつたん
じゃあ

あんまり
帰つてきたくは
なからうがあ



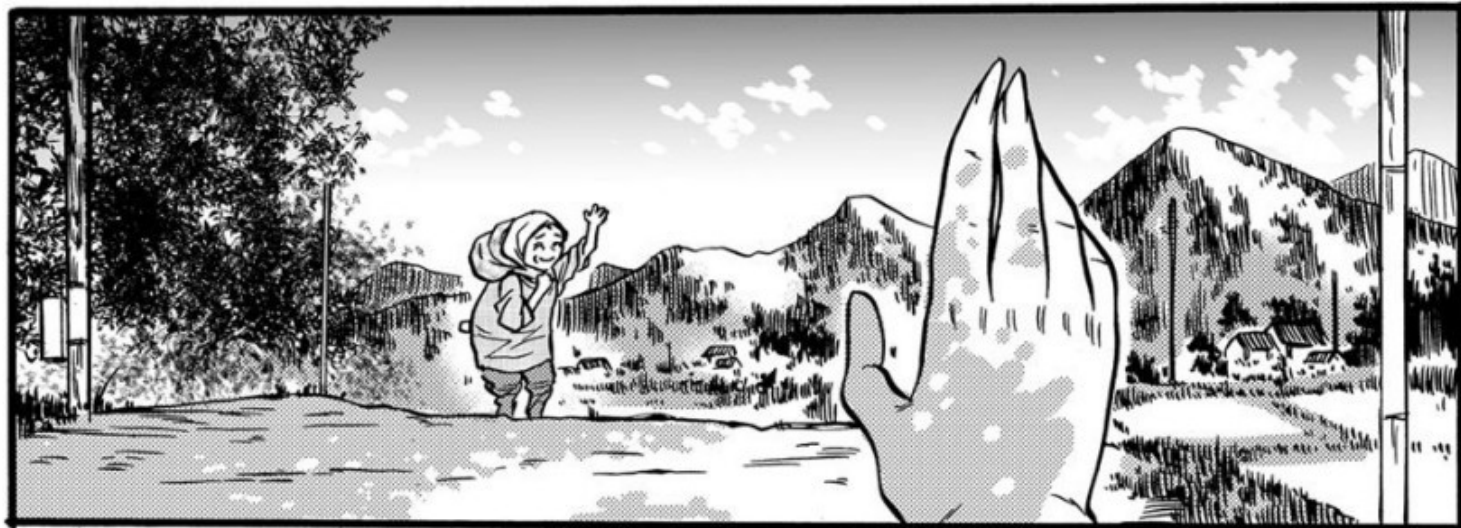
う…うん
そんな感じ

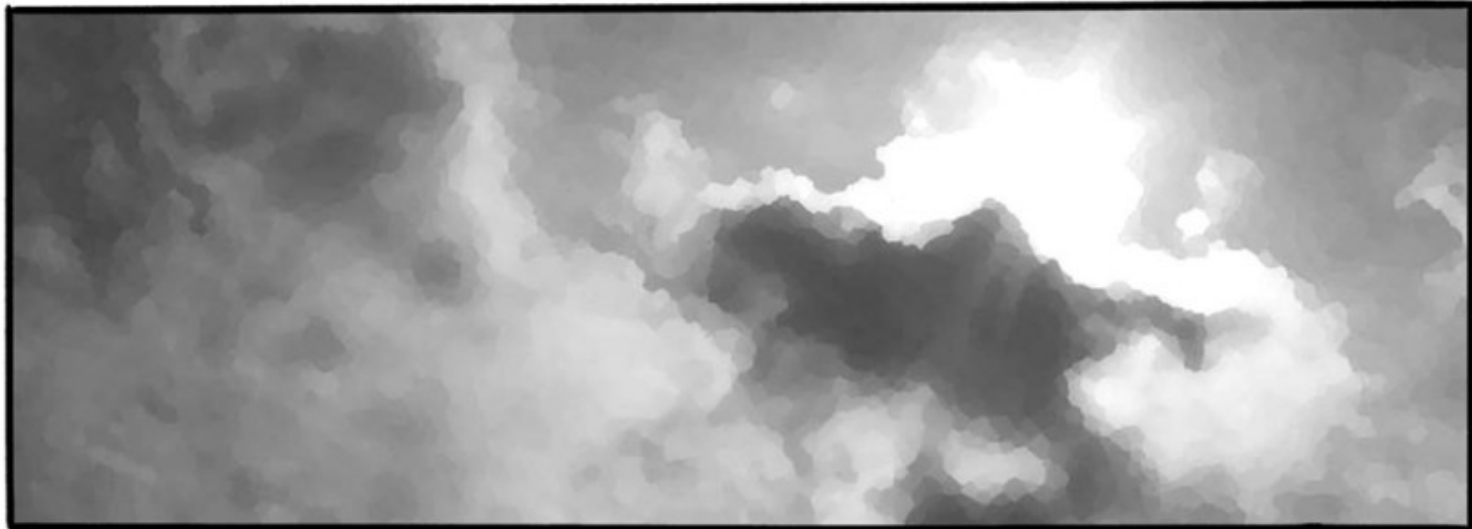


たまには

顔を見せに
きてくれ







あんたは...

